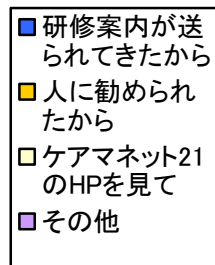
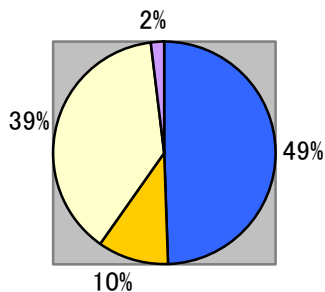


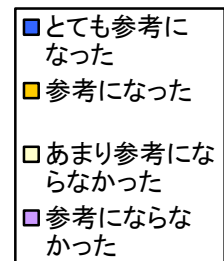
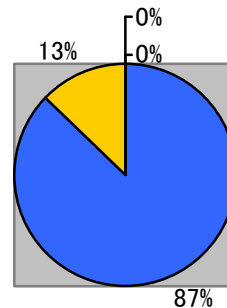
NPO 法人ケアマネット 21 スーパーバイザー養成講座
一般社団法人日本ケアマネジメント学会共催研修会 アンケートの結果
STEP1 「スーパービジョンの必要性とその実際について」

【参加者】 ケアマネット 21 会員：56 名 認定ケアマネジャーの会会員：6 名
日本ケアマネジメント学会員：2 名 その他：9 名 計 73 名
アンケート回答者：55 名 回収率：75.4%

●今回の研修参加について



●講義内容の感想をお聞かせ下さい。



●本日の研修（講義・演習）の感想をお聞かせ下さい。（自由記述）

- ・事業所内でグループスーパービジョンを行っているが、事例検討会になってしまってバイザーが納得するアドバイスができず不安だった。少し理解できた気がする。
- ・スーパービジョンの研修は事業所内でも行い、これまでバイザーとして指導を受ける事が多かったが、今後求められる役割（地域のケアマネの育成）を意識しながら関わっていくための予備知識を得ることができた。
- ・「聞く技術」は「待つ技術」という言葉に大変共感できた。
- ・バイザーよりバイザーが遥かに負担が大きく、上手くできるかプレッシャーもあるが、ルールを忠実に守ることで地域で役に立つケアマネになりたいと思う。
- ・スーパービジョンの実践経験はないが、職場のスタッフやクライアントに対して自分が現在できていないことなどが多くあり、講義を聞きながら身が引き締まった。今後もモチベーションを上げ、少しでも実践できるように勉強したい。
- ・過去に事業所の管理者を務めていた時、すぐに答えを出したり、考えを押し付けたりしていた。講義を通じて人の話を聴くという基本的なところに立ち返れた。
- ・一人ケアマネは、一人バイザー・バイザー状態であり、相談する人がいないことも多い。
- ・スーパービジョンが上手く行った時は自己満足に陥ったり、上手くいかなかった時は「なぜだろう」と悩んだりしていたが、自分の目線でしか考えていなかったことを思い知らされた。相手の力量が計れていなかったことに気付いた。スーパービジョンもバイスティックの原則で行なうということのを頭に刷り込んでいきたい。

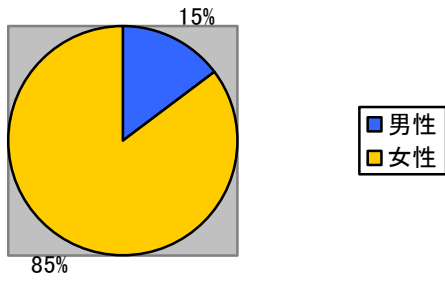
- ・これまで、バイジーの躓いている所を探すことに必死になる余り、聞き出すことに終始していた。今後は支持することを意識したい。
- ・自分自身の振り返りを行わないと自己研鑽ができないと改めて感じた。
- ・人材育成に自己評価や振り返りが必要であることを学んだ。新人ケアマネの指導に役立てたい。
- ・モニタリングの際、言葉かけの工夫が必要だと感じた。
- ・「その場で、どうしてその方法を選択したのか」など、根拠に基づく実践を意識しながら日々の業務に取り組みたい。
- ・バイザー、バイジー、観察者の役割演習において、場面に焦点をあてる難しさを痛感した。
- ・バイザー、バイジー、観察者の体験を通して場面を冷静に見ることができ、それぞれの思いが伝わった。
- ・ロールプレイを行うことで初心に戻れた。
- ・知識や技術は、それまでの経験の積み重ねが力量アップに繋がるとの事なので、今後も研修参加したい。
- ・自己のケアマネジメント技術向上のため、今回の研修にも継続参加したり、他の学びの場にも参加したい。スーパービジョンが展開できるようになりたい。
- ・前回受講したスーパービジョン研修の内容から明らかにレベルアップされている事を痛感した。
- ・日々の実践の中で「主任介護支援専門員とは何か。」「スーパービジョンを行う為には…。」の二つはモヤモヤ感が強く、混沌としていく自分を感じている。
- ・白木先生の話聞かせていただく度に整理ができ、実践できるような気持ちになる。少しの伸びしろでも数を重ねてスーパービジョンのできる介護支援専門員になりたいと思う。
- ・これまでも研修に参加させていただいたが、よく分かっていなかったことも少し理解できた。「事例の検討」と人材育成とのつながり等。
- ・「なぜスーパービジョンが必要なのか」「スーパービジョンを行う上で必要な事は何か」「クライアントの思いに向き合う事」「バイザーとして客観視できる事の必要性」等を深める事ができた。
- ・スーパービジョンの実践は難しく、できないことが多い。繰り返しの勉強が必要と実感した。
- ・スーパービジョンの必要性と実際、講義とロールプレイの体験等、学びが多かった。
- ・事例検討とスーパービジョンの違いが理解できた。実践は難しい。
- ・居宅介護支援事業所において、現在の報酬体系（単独事業所では赤字）では、人材育成や中立・公正の維持は後回しになってしまう。管理者が自身の担当するケアマネジメント業務に加え、請求業務や管理業務に関する事務作業等を行った上でスーパービジョンを実践することは難しい。せめて事務作業を担ってくれる人がいてくれればと思う。

●今後、企画して欲しい研修内容や活動内容などがありましたらご自由にご記入下さい。

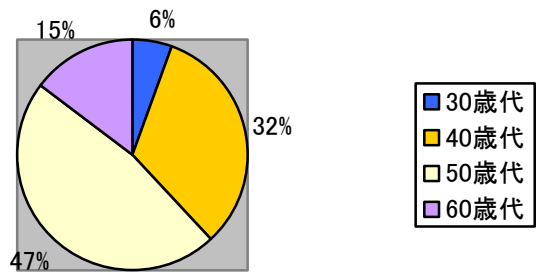
- ・逐語録の書き方についての研修。
- ・看取りのケアマネジメント・ケアプランについての研修。
- ・研究発表、学会発表についての研修（支援塾等）。
- ・面接力、効果的な質問力等、実践力を高める研修。
- ・介護保険の今後の動向についての研修。
- ・新人教育についての研修。
- ・ケアプランの書き方指導についての研修。
- ・障がいサービス施策や障がい就労支援についての研修。

●アンケート回答者の属性について

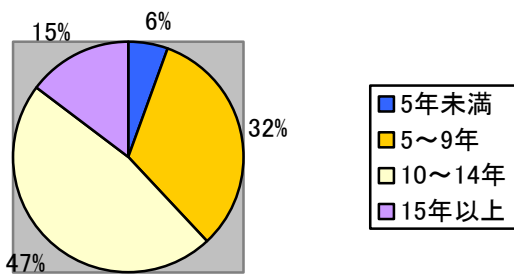
【性別】



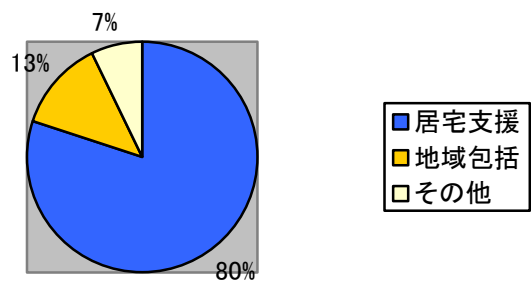
【年代別】



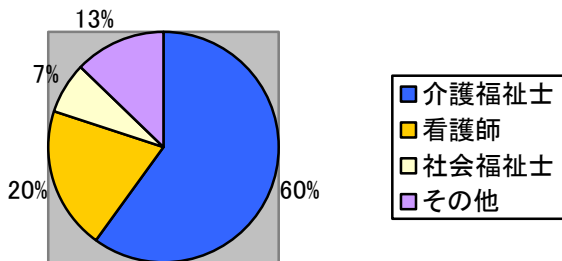
【ケアマネジャーとしての実務経験】



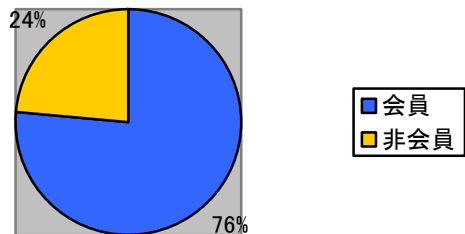
【所属について】



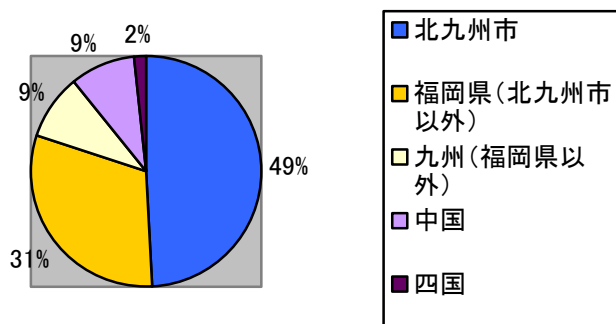
【前職は？】



【ケアマネット 21 の会員ですか？】



【どちらからお越しですか？】



皆様、アンケートへの回答、ご協力ありがとうございました。
今後の活動の参考にさせていただきます。